

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成29年度技術情報第14号(イチゴのハダニ類)について(送付)

イチゴのハダニ類について情報を取りまとめましたので送付します。ハダニ類の多発が続いており、今後の発生に注意が必要です。

平成29年度 技術情報第14号

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 発生状況

- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) ハダニ類の1月の発生ほ場率は87%(平成54%)と平成より高く(図1)、過去10年では2番目に高い(図2)。
- (2) 発生程度は地点間やほ場間差が大きく、発生程度の高いほ場が認められる(表1)。発生程度を指数化して算出した被害度は1月にかけて上昇している(図3)。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 多発ほ場では、防除により密度は低下しているが、生存個体も認められる。この場合、密度回復が早いので、再発に注意する。
- (2) 薬剤の防除効果を高めるため、下葉かきを行ってから葉裏にかかるよう散布する。
- (3) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。
- (4) 薬剤によっては感受性が低下しているので、散布後は防除効果を確認する。有効な薬剤が少なくなっているため、気門封鎖剤等も用いる。なお、ハダニ類の薬剤感受性はほ場間差が大きいので注意する(平成29年度技術情報第13号参照)。
- (5) カブリダニ類を利用する場合、放飼時の密度が防除効果に影響する。発生が認められる場合は防除する。
- (6) 薬剤によっては、ミツバチ、カブリダニ類に影響があるので薬剤選定に注意する。

6 調査結果

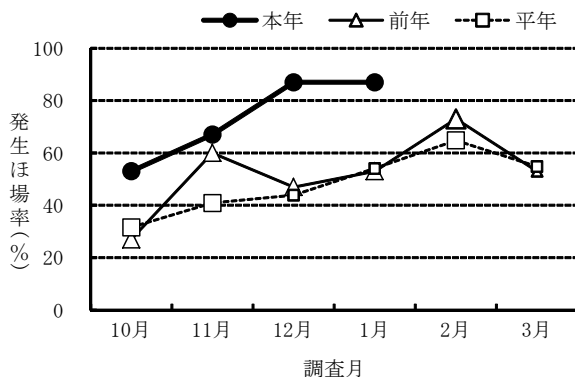


図1 ハダニ類の発生ほ場率の推移

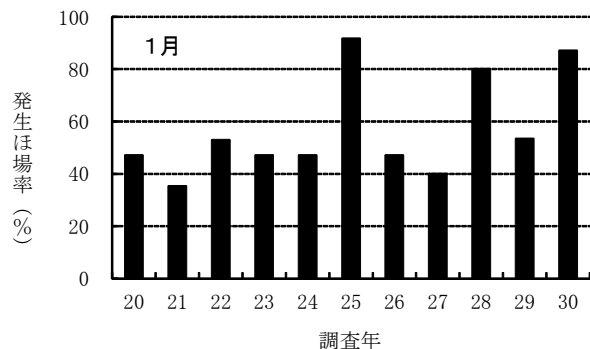


図2 ハダニ類発生ほ場率の年次比較

表1 1月の発生程度別ほ場数（ハダニ類）

調査地点	ほ場数	発生程度 <sup>a)</sup>				
		甚	多	中	少	無
日置市	4		3	1		
さつま町	4	1				3
志布志市	7			2	3	2

a) 発生程度(寄生株率)

甚：96%以上，多：71～95%，中：41～70%，少：1～40%

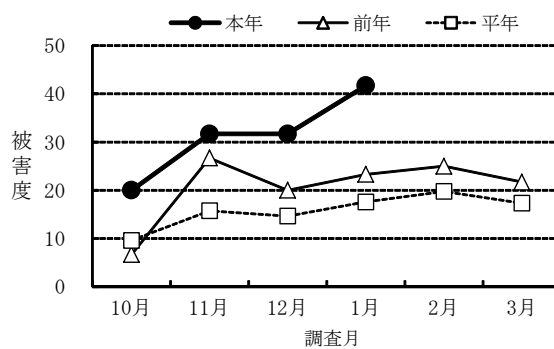


図3 ハダニ類の被害度の推移

被害度：調査ほ場の発生程度を指数化し，算出。

(甚:4, 多:3, 中:2, 少:1)

被害度 =  $\frac{(4*a+3*b+2*c+d)}{(4*調査ほ場数)} * 100$

a～dは各程度のほ場数を示す。